

令和4年度 市川市立国府台小学校校経営方針(案)

◎ 学校経営の柱と重点活動

1 学校教育目標

日々のめあてを持ち 心豊かで 主体的に生きる力を持つ子の育成

→最終的に目指す児童の理想像・・・発達段階に応じた目標設定が大切
 <自分のめあてを持ち、自ら行動し自分の意志で決定でき、

自己肯定感を持ち、他者を意識できる豊かな心を持つ児童を育成する>

大事にしたいこと「学校は理想を追求する場」

2 重点目標 「三つの元気」～ 頭の元気 体の元気 心の元気～

→あらゆる教育活動で、全教職員が意識・重視して欲しい児童指導の重点

<まなぶ楽しさ、できる楽しさ、ともに過ごす楽しさ、教える楽しさを育てていく>

<生涯にわたる成長の観点から、向上心の育成を個人と集団の両面で支援していく>

<教職員も、個々の指導力と人間力の向上、チームとしての教育力向上を目指す>

○具体的な取組み例

・やる気スイッチ<ゆさぶる場の設定、本物に触れる機会、体験の充実>

・PDCAP推進<学期毎や行事等で目標設定や振り返る機会を持ちそれを習慣化させる>

・感じる機会<読書や道徳を通し、あこがれ、感動、規範意識、ほかから学ぶ>

・評価の重視<日頃の授業・係活動・提出物での、褒めや助言を通しての意欲向上>

3 児童 活動スローガン

全力 ENJOY! 国府台 →児童が主となって活動する行事等の場面における合言葉

<「個人でも集団でも→「何事にも全力で取り組むことが、楽しみや充実につながる」と解釈したい>

4 年間生活目標

あいさつ いっぱい やさしさ いっぱい

→学校生活の中での望ましい行動として、特に児童に意識（心がけ）させたい2点

<児童理解が可能な平易な文言で、常に「挨拶」と「やさしさ」を意識した行動を目指す>

5 重視したい教育活動→上記目標等達成と教育活動の充実に向けて

知・効果的な教科担任制の導入 ・学期毎の目標設定と振り返り ・タブレット、ICTの活用

・読書の習慣化 ・普段の授業での研究テーマの意識化 ・主体的な家庭学習の推進(定着)

徳・道徳教育の充実 ・地域学習を通しての郷土愛の育成 ・意図的な児童決定の場の充実

・交流活動 ・共同学習を通じた多様性を認め合える児童育成 ・学年単位の活動充実

体・健康に係る知識と意識の向上 ・正課体育での体力向上、 ・特別支援教育の指導力向上

信・学校からの情報発信の充実 ・児童、保護者、協議会の意見反映 ・相談の充実

※学年では

※学級では

6 働き方改革

人間力の向上・・・スイッチの切り替え(ON・OFF)、アフターの充実、年休の習得

・水曜日のノー残業デーの徹底 ・隙間時間の活用(10分間を作り出す)

・行事はその場で反省会 ・座らない会議 ・タブレットの活用等